

介護支援専門員意見書

入居希望者氏名	
---------	--

1、本人の状況

要介護度	要介護 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5	
認知症高齢者の 日常生活自立度	自立 ・ I ・ II a ・ II b ・ III a ・ III b ・ IV ・ M	
	認定日及び認定医名	年 月 日 ()
障害高齢者の 日常生活自立度	自立 ・ J1 ・ J2 ・ A1 ・ A2 ・ B1 ・ B2 ・ C1 ・ C2	

認知症による不適応行動	ある	時々ある	ない
1、物忘れがひどい			
2、食べられないものを口にに入れる			
3、不潔な行為をする			
4、物や衣類を壊したり、破いたりする			
5、火の始末や火元の管理ができない			
6、いろいろなものを集めたり、無断でもってくる			
7、目的もなく動き回る			
8、外へ出たがり目が離せない			
9、外出すると家に一人でもどれない			
10、助言や介護に抵抗することがある			
11、暴言・暴行・大声を出すことがある			
12、夜間不眠あるいは昼夜逆転がある			
13、泣いたり笑ったり感情が不安定になる			
14、実際に無い物がみえたり聞こえたりする			
15、物を盗られたなどと被害的になる			
16、その他()			

* 「ある」 : ほぼ毎日ある
「時々ある」 : 月または週に1～2回程度
「なし」 : ほとんどなし

2、在宅サービス利用度

在宅サービス限度額割合	60%以上 入所・入院中(	50%以上 年 月 ~	30%以上	30%未満
サービス内容・頻度				

3、主たる介護者の状況

世帯の状況	独居 高齢者世帯 その他
介護者の年齢・続柄	年齢(歳) 続柄()
介護者の介護負担	重い やや重い 軽い 負担なし
介護者の障害や疾病	有(介護困難・多少介護困難・介護可能) 無
介護者の就労	有(職種) 無 勤務状況(週 日 ・ 一日 時間勤務)
他の要介護者	有 (要支援・要介護1・2・3・4・5) 無 ・認知症による不適応行動 (非常に多い・やや多い・少しあり・なし) ・在宅サービス限度額割合 (60%以上・50%以上・30%以上・30%未満) ・所在地 (自宅・入所、入院中 平成・令和 年 月～) 無
介護者の育児、 家族の病気	有(常時の育児・看護 半日育児・看護 随時育児・看護) 無
主たる介護者以外の 介護協力	ほとんどなし 随時あり 常時あり

4、入居についての介護支援専門員の所見

事業所名 :



記載者氏名 :

記入上の注意

- 1、[介護者の障害や疾病]の「介護困難」は排泄・入浴・移動・着替え・食事などADL全般の介護が困難、「多少介護」は2つ程度のADL援助ならびである。
- 2、[主たる介護者以外の介護協力]の「随時あり」は週1～3日程度、「常時有り」は週4日以上を目安とする。
- 3、「高齢者」とは、65歳以上。「高齢世帯」とは、同居者がすべて65歳以上。

日常生活状況

氏名

様

項目	本人の状況
食 事	・食事の場所 : ベッド又は布団 自室 食堂 他() ・食事の内容 : ふつう 一口大 小さく刻む ミキサー 他() ・食事の方法 : 自分で食べる 一部介助が必要 すべて介助が必要 ・必要な物品 : はし スプーン フォーク 他() ・食事の制限 : ある なし 制限内容()
排 泄	・排泄の場所 : トイレ ポータブルトイレ おむつ 他() ・排泄の方法 : 全て自分で 一部介助が必要 全て介助が必要
身体の保清	・入浴の場所 : 自宅 通所等の施設 入所施設 他() ・入浴の方法 : 全て自分で 一部介助が必要 全て介助が必要 ・洗面の方法 : 全て自分で 一部介助が必要 全て介助が必要 ・更衣の方法 : 全て自分で 一部介助が必要 全て介助が必要
移乗・移動	・移動の方法 : 自力で移動 一部介助が必要 全て介助が必要 ・必要な物品 : 必要ない 杖 歩行器 車椅子 他() ・転倒の危険 : ほとんど転ばない 時々転ぶ 頻繁に転ぶ
会 話	・会話の方法 : 言葉 身振り手振り サイン 困難 他() ・内容の理解 : 完全にできる だいたいできる ほとんど困難 ・物事の訴え : なんでも訴える 一部の事だけ訴える 訴えない
不適応行動	・認知症または精神疾患が(ある ・ ない) ・どのような症状がどれくらいの間隔で見られますか？
病 気	現在の病気: 今迄の病気:
その他 (医療処置等)	

※申込者本人の状況が分かるものに差し替えて頂いても構いません。

記載者